

社会資本総合整備計画（水の安全・安心基盤整備） 事後評価書

平成 29 年 1 月 18 日

計画の名称	日野市における今後の公共下水道事業の計画的な整備方針の確立と推進（防災・安全）										
計画の期間	平成25年度～平成27年度（3年間）					交付対象	日野市				
計画の目標	今後の日野市の公共下水道事業整備方針を確立し、計画的に公共下水道の普及促進・浸水対策・老朽管対策・地震対策を実施して社会資本の機能向上を図り、安心安全なまちづくりを構築する。										
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 下水道による浸水対策整備区域面積の割合を、29.1%（H23）から29.4%（H27）に増加。 管渠改築済延長を0m（H23）から1,356mに増加。 耐震化済延長を1.6km（H23）から12.9km（H27）に増加。 										
定量的指標の定義及び算定式						定量的指標の現況値及び目標値			備考		
					当初現況値 (H25当初)	中間目標値 (H26末)	最終目標値 (H27末)				
<ul style="list-style-type: none"> 浸水対策を実施すべき下水道計画区域面積のうち、浸水対策整備区域面積の割合。 下水道による浸水対策整備率（%）＝（整備済区域面積（ha））／（浸水対策を実施すべき区域の面積（ha）） 老朽管対策による管渠改築済延長。 地震対策による耐震化済延長。 					29.3%	29.4%	29.4%				
					0m	362m	1,356m				
					1.6km	2.3km	12.9km				
全体事業費	合計 (A+B+C)	616百万円	A	572百万円	B	0	C	44百万円	効果促進事業費の割合 C／(A+B+C)	7.1%	

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期									
事後評価の実施体制					事後評価の実施時期				
日野市社会資本総合整備計画事後評価委員会設置基準に基づき、日野市環境共生部長を委員長に検討会を設置し、事後評価を実施した。					平成28年8月29日				
					公表の方法				
					市ホームページにて公表				

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A 下水道事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H23	H24	H25	H26	H27		
浅川処理区																	
1-A-3	下水道	一般	日野市	直接間接	-	汚水	改築	浅川右岸第二・三処理分区（汚水管3）（老朽管対策）	京王平山地汚水管路更生事業 汚水管布設管φ200 L=125.2m 更生φ250 L=800.4m	日野市						140	■ 計画 ■ 実施
1-A-4	下水道	一般	日野市	間接	-	雨水	新設	豊田排水区（雨水管1）（浸水対策）	雨水管 φ=300～2000mm L=947.3m	日野市						168	
1-A-5	下水道	一般	日野市	直接	-	雨水	新設	東平山排水区（雨水管2）（浸水対策）	雨水管 φ=2000mm L=113.3m	日野市						193	
全処理区																	
1-A-9	下水道	一般	日野市	直接	-	汚水	-	下水道施設耐震化対策事業（地震対策）	診断、設計、工事（人孔浮上防止 N=92箇所）	日野市						63	
1-A-10	下水道	一般	日野市	直接	-	汚水・雨水	-	下水道管渠耐震化事業（地震対策）	総合地震対策計画策定（緊急目標Ⅱ・Ⅲ）	日野市						8	
合計											572						
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H23	H24	H25	H26	H27			
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考						
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H23	H24	H25	H26	H27			
1-C-1	下水道	一般	日野市	間接	-	新設	豊田幹線枝線整備	雨水管 φ=300～400mm L=238m	日野市						33		
1-C-2	下水道	一般	日野市	直接	-	改築	京王平山住宅地汚水管路更生事業	汚水管 φ=250mm L=43m	日野市						11		
1-C-3	下水道	一般	日野市	直接		B C P	地震対策事業	B C P 作成・印刷・配布	日野市						0	(市職員にて作成)	
合計											44						
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考						
1-C-1	基幹事業である雨水幹線と接続した枝線整備を一体的に行うことにより、浸水被害を防ぎ、都市活動を確保する。																
1-C-2	基幹事業である下水道管路更生と一体的に行うことにより、管の破損による道路陥没や流下阻害を防ぎ、都市活動を確保する。																
1-C-3	基幹事業である下水道管渠耐震化事業に併せ、地震対策のソフト対策として、下水道業務継続計画を策定し、下水道機能の早期確保を図る。										備考						

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> 雨水管1,298mを整備することにより、下水道による浸水対策整備率が29.1%（H23当初）から30.1%（H27末）に増加して、多摩平地区等の浸水被害軽減に寄与した。 京王平山住宅地内污水管969mの管路更生等を行うことにより、道路陥没等の事故防止と不明水流入防止に寄与した。 耐震診断結果に基づき、人孔浮上防止対策を実施したことにより、日野市の緊急輸送路21.8kmすべての污水管の耐震化を達成した。 			
II 定量的指標の達成状況	指標①浸水対策を実施すべき下水道計画区域面積のうち、浸水対策整備区域面積の割合	最終目標値	29.4%	目標値と実績値に差が出た要因	・目標値は概算値であるので、実績値との差が出た。
		最終実績値	30.1%		
	指標②老朽管対策による管渠改築済延長	最終目標値	1,356m	目標値と実績値に差が出た要因	・工事の契約不調に伴い、事業量が減少したため、実績値が目標値を下回った。
		最終実績値	969m		
	指標③地震対策による耐震化済延長	最終目標値	12.9km	目標値と実績値に差が出た要因	・耐震診断の結果、管路対策が不要及び当初想定数より少ない必要数で人孔浮上防止対策を実施することが判明した。よって、計画より1年早く、日野市総合地震対策計画の緊急目標Iの日野市の緊急輸送路21.8kmすべての污水管耐震化を達成した。
		最終実績値	21.8km		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					
3. 特記事項（今後の方針等）					
<ul style="list-style-type: none"> 次期(H28～H32)社会資本整備計画では、引き続き、東平山雨水幹線整備を主とした浸水対策、既設下水道管渠等の老朽管対策、地震対策を実施する予定とする。 					